



2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/ja/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 Group CEO (氏名) 吉田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役員 CFO&CSO (氏名) 三橋 靖夫

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	101,251	△25.5	14,269	△68.1	12,961	△73.2	9,202	△74.8	9,202	△74.8	26,828	△41.8
2023年3月期第1四半期	135,943	40.0	44,783	71.4	48,416	88.1	36,496	88.7	36,496	88.7	46,068	131.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	49.95	49.76
2023年3月期第1四半期	192.14	191.34

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	607,680	383,623	383,623	63.1
2023年3月期	600,224	368,694	368,694	61.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	65.00	-	70.00	135.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	65.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	480,000	△14.3	105,000	△37.4	103,500	△39.6	78,000	△40.2	78,000	△40.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

詳細は、添付P.4「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	191,542,265株	2023年3月期	191,542,265株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	7,030,447株	2023年3月期	7,328,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	184,227,254株	2023年3月期1Q	189,943,510株

（注）期末自己株式数には、業績連動型株式報酬信託口が保有する当社株式（2024年3月期1Q：6,951株、2023年3月期：162,183株）が含まれております。また期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 9
2023年度第1四半期決算(連結)の概要	P. 10

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)の状況 (単位:億円)

	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	1,359	1,013	△25.5%
営業利益	448	143	△68.1%
税引前四半期利益	484	130	△73.2%
四半期利益	365	92	△74.8%

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ウィズコロナ政策などにより前年同期と比較し経済活動の正常化が進みました。しかしながら、前年度から継続するインフレの長期化および欧米での金利引き上げにより、景気後退懸念が高まりました。

このような不透明な世界経済情勢のもと、スマートフォンやパソコン、テレビなど主要民生機器での需要減退、さらにはデータセンタ投資も減速したことから、半導体市場においても関連する半導体の需要が落ち込みました。自動車や産業機器向けなどの一部の半導体は堅調なものの、多くの半導体メーカーでは在庫調整や設備投資の抑制が実施され、全体として半導体市場は縮小しました。

当社の半導体試験装置ビジネスにおいては過去3年にわたり継続された顧客の投資により、一部の顧客サプライチェーンで設備の余剰が発生しています。加えて半導体市況自体の弱含みもあり、当社製品の需要は前年同期に比べ大きく落ち込みました。

これらの結果、売上高は1,013億円(前年同期比25.5%減)となりました。減収に加え、好採算品の販売比率低下から営業利益は143億円(同68.1%減)、税引前四半期利益は130億円(同73.2%減)、四半期利益は92億円(同74.8%減)となりました。当四半期の平均為替レートは、米ドルが135円(前年同期124円)、ユーロが146円(同134円)、海外売上比率は95.8%(前年同期97.3%)でした。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	961	705	△26.6%
セグメント利益	407	183	△55.0%

当部門では、SoC半導体用試験装置は、停滞するスマートフォン市況を背景にスマートフォンの基幹部品であるアプリケーション・プロセッサ向けを中心とした先端プロセス品関連の製品販売が落ち込みました。メモリ半導体用試験装置についても、サーバー投資の減速やパソコン、スマートフォンにおける販売台数の低迷などからメモリ半導体市況が悪化し、当社製品の販売が減少しました。利益面においても、減収に加え、製品ミックスが悪化したことから、当セグメントの収益性が低下しました。

以上により、当部門の売上高は705億円(前年同期比26.6%減)、セグメント利益は183億円(同55.0%減)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位：億円)

	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	154	85	△44.6%
セグメント利益	46	0	△99.9%

当部門では、半導体試験装置の需要減退を背景に、関連するデバイス・インタフェース製品、テスト・ハンドラの売上が減少しました。ナノテクノロジー製品も前年度に顧客へ製品納入が進んだことから、売上が減少しました。

以上により、当部門の売上高は85億円（前年同期比44.6%減）、セグメント利益は0億円（同99.9%減）となりました。

<サービス他部門>

(単位：億円)

	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	245	222	△9.4%
セグメント利益	39	△6	—

当部門では、当社製品の設置台数の増加に伴い保守サービスの売上は伸長しました。しかしながら、特定顧客向けの売上比率が高いシステムレベルテスト事業において、民生機器向けの需要減少の影響により売上が低調でした。また当事業において、中長期的な事業成長を見越した生産体制および開発体制強化によりコストが増加していることから、当セグメントの利益額は前年同期を大きく下回りました。

以上により、当部門の売上高は222億円（前年同期比9.4%減）、セグメント損失は6億円（同45億円悪化）となりました。

(2) 財政状態の概況

当第1四半期末の総資産は、営業債権およびその他の債権が361億円減少したものの、棚卸資産が211億円、有形固定資産が111億円、のれんおよび無形資産が102億円、それぞれ増加したことなどにより、前年度末比75億円増加の6,077億円となりました。負債合計は、借入金が211億円増加したものの、未払法人所得税が192億円、営業債務およびその他の債務が173億円、それぞれ減少したことなどにより、前年度末比75億円減少の2,241億円となりました。また、資本合計は3,836億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比1.7ポイント増加の63.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第1四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より67億円減少し、789億円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益130億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の減少（391億円）、法人所得税の支払額（△230億円）、営業債務およびその他の債務の減少（△198億円）、棚卸資産の増加（△181億円）に減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、39億円の支出（前年同期は、40億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、133億円の支出（前年同期は、43億円の支出）となりました。これは主に、子会社の取得による支出（△83億円）、有形固定資産の取得による支出（△57億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、68億円の収入（前年同期は、137億円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加（200億円）と配当金の支払額（△126億円）によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の当社を取り巻く市場環境を展望しますと、中長期的には半導体は社会のデジタル・トランスフォーメーションやグリーン・トランスフォーメーションを支えるインフラストラクチャーとして、さらに高い機能や信頼性が求められ、半導体市場の成長は揺るぎないものと考えます。AIを活用する新たなアプリケーションの台頭などによりデジタル革命が促進されるとともに、カーボンニュートラル対応の社会的要求の高まりから、エネルギー効率改善を実現する半導体技術の重要度も増しています。顧客においてもさらなる微細化をはじめとした次世代デバイスの開発が意欲的に継続されています。「安全・安心・心地よい」環境・社会を支える半導体を世の中に提供するための半導体試験装置の需要も半導体市場の成長と軌を一にして成長していくものと予想します。

しかしながら、短期的にはインフレ進行や金利上昇などによる世界景気の後退懸念に加え、地政学的リスクの拡大懸念、急激な為替変動リスクなど、事業環境の不確実性が高い状況が継続しています。景気後退懸念が高まる中で半導体メーカーにおける生産調整はアプリケーションごとの濃淡はあるものの、当面継続されることが予想され、暦年2023年の半導体試験装置市場は前年比で縮小するものと想定しています。足元ではスマートフォンなどの需要弱含みは継続しているものの、生成AIなどに触発され、ハイエンド半導体向けでは当社製品への投資が上向く兆しも感じられるようになってきました。なお米国および同盟国による半導体製造装置の対中輸出規制強化に関して、現時点では、当社の2023年度の業績に対する直接的な影響は限定的と考えておりますが状況を注視してまいります。

これらの見通しおよび当第1四半期連結累計期間の業績進捗を踏まえ、当連結会計年度の通期連結業績予想は売上高4,800億円、営業利益1,050億円、税引前利益1,035億円、当期利益780億円と2023年4月に公表した予想を据え置きます。予想の前提とした当連結会計年度第2四半期以降の9か月間の為替レートは、米ドルが135円、ユーロが150円です。

上述のとおり当社を取り巻く事業環境は世界経済の不透明さを筆頭に不確実な状況が継続しています。外部環境の変化に十分に注意を払い、必要に応じたコストコントロールの実施など機動的に対応してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	85,537	78,873
営業債権およびその他の債権	102,152	66,027
棚卸資産	169,082	190,158
その他の流動資産	17,924	22,706
流動資産合計	374,695	357,764
非流動資産		
有形固定資産	64,046	75,184
使用権資産	17,312	17,057
のれんおよび無形資産	95,767	105,933
その他の金融資産	21,488	24,800
繰延税金資産	26,522	26,098
その他の非流動資産	394	844
非流動資産合計	225,529	249,916
資産合計	600,224	607,680
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	89,262	71,933
借入金	13,357	34,499
未払法人所得税	30,635	11,484
引当金	9,093	8,913
リース負債	4,587	4,728
その他の金融負債	4,903	6,157
その他の流動負債	22,852	28,068
流動負債合計	174,689	165,782
非流動負債		
借入金	20,000	20,004
リース負債	12,900	12,514
退職給付に係る負債	16,812	17,034
繰延税金負債	5,773	7,164
その他の非流動負債	1,356	1,559
非流動負債合計	56,841	58,275
負債合計	231,530	224,057
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,622	44,092
自己株式	△59,099	△57,124
利益剰余金	319,171	315,029
その他の資本の構成要素	31,637	49,263
親会社の所有者に帰属する持分合計	368,694	383,623
資本合計	368,694	383,623
負債および資本合計	600,224	607,680

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	135,943	101,251
売上原価	△57,024	△50,300
売上総利益	78,919	50,951
販売費および一般管理費	△34,024	△36,903
その他の収益	59	327
その他の費用	△171	△106
営業利益	44,783	14,269
金融収益	3,992	294
金融費用	△359	△1,602
税引前四半期利益	48,416	12,961
法人所得税費用	△11,920	△3,759
四半期利益	36,496	9,202
四半期利益の帰属 親会社の所有者	36,496	9,202
1株当たり四半期利益		
基本的	192.14円	49.95円
希薄化後	191.34円	49.76円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	36,496	9,202
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	△2,725	982
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	12,297	16,644
税引後その他の包括利益	9,572	17,626
四半期包括利益	46,068	26,828
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	46,068	26,828

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2022年4月1日 残高	32,363	44,995	△81,547	279,828	18,982	294,621	294,621
四半期利益				36,496		36,496	36,496
その他の包括利益					9,572	9,572	9,572
四半期包括利益	—	—	—	36,496	9,572	46,068	46,068
自己株式の取得			△1			△1	△1
自己株式の処分		△1,068	1,125	△7		50	50
配当金				△13,294		△13,294	△13,294
株式に基づく報酬取引		435				435	435
所有者との取引額等合計	—	△633	1,124	△13,301	—	△12,810	△12,810
2022年6月30日 残高	32,363	44,362	△80,423	303,023	28,554	327,879	327,879

当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2023年4月1日 残高	32,363	44,622	△59,099	319,171	31,637	368,694	368,694
四半期利益				9,202		9,202	9,202
その他の包括利益					17,626	17,626	17,626
四半期包括利益	—	—	—	9,202	17,626	26,828	26,828
自己株式の取得			△8			△8	△8
自己株式の処分		△961	1,983	△449		573	573
配当金				△12,895		△12,895	△12,895
株式に基づく報酬取引		431				431	431
所有者との取引額等合計	—	△530	1,975	△13,344	—	△11,899	△11,899
2023年6月30日 残高	32,363	44,092	△57,124	315,029	49,263	383,623	383,623

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	48,416	12,961
減価償却費および償却費	4,921	6,023
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	△4,670	39,099
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,625	△18,103
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	1,449	△19,783
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	770	△214
預り金の増減額 (△は減少)	2,852	1,712
前受金の増減額 (△は減少)	△311	3,632
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△773	△385
その他	△12,430	△5,788
小計	25,599	19,154
利息および配当金の受取額	23	264
利息の支払額	△60	△352
法人所得税の支払額	△21,554	△23,013
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	4,008	△3,947
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の売却による収入	—	1,150
有形固定資産の取得による支出	△4,277	△5,685
無形資産の取得による支出	△131	△144
子会社の取得による支出	—	△8,311
その他	123	△320
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△4,285	△13,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	20,000
自己株式の処分による収入	15	542
配当金の支払額	△12,971	△12,615
リース負債の返済による支出	△732	△1,162
その他	△1	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△13,689	6,757
現金および現金同等物に係る換算差額	4,855	3,836
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△9,111	△6,664
現金および現金同等物の期首残高	116,582	85,537
現金および現金同等物の四半期末残高	107,471	78,873

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	96,062	15,426	24,455	—	135,943
セグメント間の売上高	20	—	—	△20	—
合計	96,082	15,426	24,455	△20	135,943
セグメント利益 (調整前営業利益)	40,734	4,551	3,859	△4,008	45,136
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△353
営業利益	—	—	—	—	44,783
金融収益	—	—	—	—	3,992
金融費用	—	—	—	—	△359
税引前四半期利益	—	—	—	—	48,416

当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	70,547	8,544	22,160	—	101,251
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	70,547	8,544	22,160	—	101,251
セグメント利益 (調整前営業利益)	18,332	3	△634	△2,884	14,817
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△548
営業利益	—	—	—	—	14,269
金融収益	—	—	—	—	294
金融費用	—	—	—	—	△1,602
税引前四半期利益	—	—	—	—	12,961

(注) 1. 当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

2. 株式報酬費用は、ストック・オプション、業績連動型株式報酬および譲渡制限付株式報酬の費用であります。

3. 報告セグメントの利益は、株式報酬費用調整前営業利益 (△損失) をベースとしております。

4. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。

5. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2023年度第1四半期 決算（連結）の概要

1. 損益

（単位：億円）

	2022年度実績				2023年度実績			2023年度業績予想	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	前年同期比	前期比	通期	前年度比
売上高	1,359	1,389	1,380	1,474	1,013	△25.5%	△31.3%	(4,800) 4,800	△14.3%
売上原価	△570	△590	△564	△687	△503	△11.8%	△26.8%	—	—
販売費および一般管理費	△340	△371	△405	△405	△369	8.5%	△8.9%	—	—
その他の収益・費用	△1	3	1	4	2	—	△35.2%	—	—
営業利益 （売上高比率）	448 (32.9%)	431 (31.1%)	412 (29.9%)	386 (26.2%)	143 (14.1%)	△68.1%	△63.0%	(1,050) 1,050	△37.4%
金融収益・金融費用	36	37	△35	△2	△13	—	9.7倍	—	—
税引前当期利益 （売上高比率）	484 (35.6%)	468 (33.7%)	377 (27.3%)	384 (26.1%)	130 (12.8%)	△73.2%	△66.3%	(1,035) 1,035	△39.6%
法人所得税費用	△119	△121	△91	△78	△38	△68.5%	△51.9%	—	—
当期利益 （売上高比率）	365 (26.8%)	347 (25.0%)	286 (20.8%)	306 (20.8%)	92 (9.1%)	△74.8%	△69.9%	(780) 780	△40.2%

（注）上段（ ）の数値は、2023年4月26日発表時の予想であります。

2. 財政状態

（単位：億円）

	2022年度実績				2023年度実績	
	1 Q末	2 Q末	3 Q末	4 Q末	1 Q末	前年度末比
総資産	5,311	5,673	5,524	6,002	6,077	1.2%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	3,279	3,424	3,306	3,687	3,836	4.0%
親会社所有者帰属持分比率	61.7%	60.4%	59.8%	61.4%	63.1%	—

3. 配当の状況

（単位：円）

	2022年度実績			2023年度予想		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
1株当たり配当金	65.00	70.00	135.00	65.00	未定	未定

（注）1. 2023年度中間配当については、本日公表の「中間配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 現時点では2023年度の期末配当については未定です。今後の業績等を勘案し、予想が可能となった時点で速やかに開示する予定です。